

令和8年度 三重大学教育学部 学校推薦型選抜 推薦Ⅰ

技術・ものづくり教育コース

入学試験問題（小論文）

令和7年11月22日（土） 試験時間 : 10:00～11:30

【注意事項】

- ◆ 試験開始の合図があるまで中を見てはいけません。
- ◆ 試験開始後ただちに落丁、乱丁等の有無を確認し、異常がある場合には監督者に申し出てください。
- ◆ 問題および解答用紙の内訳は以下のとおりです。

小論文	問題用紙2枚
	解答用紙3枚
	下書き用紙1枚
- \*不足がある場合は申し出てください。
- ◆ 解答用紙のすべてに受験番号を記入してください。
- ◆ 試験終了後、問題用紙・解答用紙ともに回収します。持ち帰らないこと。
- ◆ 下書き用紙は持ち帰ってください。
- ◆ その他、解答にあたっては、監督者の指示に従ってください。

令和8年度 三重大学 教育学部 技術・ものづくり教育コース

入学試験問題用紙

小論文 問題

以下の文は、プロジェクト学習について説明したもの（資料1）と、中学校技術・家庭科技術分野（以下、技術科）の教育方法としてのプロジェクト学習について述べたもの（資料2）の一部である。これらの文章を読んで、次頁の問いに答えなさい。

資料1

著作権の関係上，公開しません。

出典：藤永保 監修，『最新心理学事典』（2018）

（次頁に続く）

資料 2

著作権の関係上，公開しません。

出典：鈴木寿雄 著、『技術科教育史 戦後技術科教育の展開と課題』（2009）

- 問1 下線部①で、「現代社会の進歩は著しく、既有知識の有効期間は従来に比べ短くなっている。」と述べられています。科学技術が著しく進歩した事例を1つ挙げ、「そこで使用されている科学技術」と、「その科学技術の進歩によりどのように社会が変化したのか」を具体的に説明しなさい。
- 問2 2つの資料をもとに、技術科の授業において、教育方法としてプロジェクト学習（プロジェクト法）を採用することの意義と課題について説明しなさい。
- 問3 技術科の授業においてプロジェクト学習を採用することにしました。どのようなテーマを設定し授業に取り組みますか。プロジェクトのテーマを設定し、どのような学習活動を展開するかを述べなさい。なお、学習活動には、「観察」「実験」「調査」「試行」「見学」のうち、2つ以上を含めてください。







下書き用紙